

北但行政事務組合監査告示第1号

地方自治法第292条において準用する第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を公表します。

令和2年1月30日

北但行政事務組合

監査委員 保 田 勇 一

監査委員 竹 中 理

定期監査及び行政監査結果報告書

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項の規定に基づく財務監査を第4項の規定による定期監査として、併せて第2項の規定に基づく行政監査を実施した。(地方自治法第292条の準用規定による。)

第2 監査の対象

1 監査の対象

豊岡市、美方郡香美町及び美方郡新温泉町をもって組織する北但行政事務組合（以下「組合」という。）

2 対象期間と範囲

2019年4月1日から11月30日現在までの組合の財務及び一般行政事務に関する事務の執行

第3 監査の着眼点

今回の監査は、組合の所管事務を対象に、主に予算執行その他の事務の処理状況、現金及び物品の出納及び保管状況並びに契約の状況等を重点に、2019年11月30日現在の監査要求資料等に基づき、それぞれの事務が関係法令等に準拠し、かつ的確に行われているかを試査した。

第4 監査の主な実施内容

監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）をヒアリング形式により実施するとともに、監査委員による監査を実施した。

1 事前監査実施日 2020年1月9日

- (1) 監査要求資料、関係帳簿及び書類の提出を求め、事前監査点検事項（チェックシート）を作成した。
- (2) 予算の執行状況及び内容等について、収入及び支出伝票を抽出調査し確認するとともに、内容を聴取した。
- (3) 事務概要、職員数及び主要な事務事業の概要について説明を受け、進捗状況等について確認した。
- (4) 委託契約について業務を抽出し、事務処理を確認した。
- (5) 備品の管理状況について、備品台帳により確認した。
- (6) 財産調書に基づいて、土地、建物、機械器具備品（100万円以上）、基金について内容を聴取した。
- (7) 資金前渡金について、内容を聴取し処理状況の確認を行った。

2 監査委員監査の実施 2020年1月16日

事前監査（予備調査）の結果を踏まえて行った。

3 監査委員名 監査委員 保田 勇一、監査委員 竹中 理

第5 監査の実施期間

- 1 実施場所 豊岡市役所本庁舎及び北但行政事務組合
- 2 監査の期間 2019年11月29日から2020年1月24日まで

第6 監査の結果

監査の結果については、おおむね適正な事務処理がなされていると認められた。しかし、事務の一部について、留意及び改善を要する点が見受けられたので、それぞれ必要な措置を講じ適切な事務処理に努められたい。

なお、今回の監査における全体の要望事項等は、「4 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、今後、検討等を求める。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。

以下、監査の結果は次のとおりである。なお、文中及び各表中の係数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

1 事務組織及び事務事業等の概要

(1) 事務組織

組合は、「豊岡市」、「香美町」、「新温泉町」を構成市町として、広域ごみ・汚泥処理施設の設置及び維持管理並びに広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同処理している。

事務組織は、1課（環境課）1係（環境係）からなり、事務局長ほか13名（うち嘱託職員6名、臨時職員2名）の職員が配置されている。

(2) 事務事業等の概要

ア 施設運営について

2016年8月から2036年7月までの20年間ほくたんハイトラスト株式会社のもとで施設の運営が行われている。繁忙期もスムーズな受入体制を取り、自主保証値 ※ を遵守しながら安全に稼働している。緊急炉停止は発生していない。

また、施設から排出されるばいじん及び分別されたプラスチック類等については、資源化やリサイクルするため、それぞれ資格を有した専門業者に委託している。水銀ゼロ使用乾電池については、一般廃棄物として処理が可能のため直営で手選別し破碎処理を行うことにより委託経費節減に努めている。

イ 地元対応について

森本区及び坊岡区で構成される運営委員会と定期的に会議を開催し、協議、報告を行うなど地域との協調を図っている。また、クリーンパーク北但に近接する周辺箇所の9地点及び浚渫土砂の土壌調査を実施し、安心な施設として運営する努力をしている。

ウ 住民啓発について

構成市町の全世帯に、組合広報紙「ほくたん便り」を配布し、事業の内容、ごみの分別に対するお願い及び各種イベントの情報を広く周知している。併せて組合のホームページにおいても最新情報の更新を行っている。ホームページの2019年4月から11月

までのアクセス件数は6,391件で、前年同期452件の増となっている。

エ 緊急時の事業継続について

自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態にごみ処理事業を継続し早期復旧を可能にすることを目的にSPCと三光株式会社と廃棄物の運搬及び処分業務委託に関する基本協定を締結した。また、各市町の災害廃棄物処理計画の策定に関わり、廃棄物の円滑な受入れに協力することを目的に環境省災害廃棄物処理計画策定モデル事業に対して資料提供や助言を行っている。

[※ 施設運営事業者が自主的に提案した法で定める環境基準よりはるかに厳しい値]

2 予算の執行状況（2019年11月30日現在）

組合における予算の執行状況は、次のとおりである。

(1) 一般会計予算の執行状況

< 歳 入 >

(単位:千円、%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収 入 率		予算額との比較 (A-C)
				C/A	C/B	
分担金及び負担金	353,077	289,433	289,433	82.0	100.0	63,644
使用料及び手数料	142,055	96,519	94,898	66.8	98.3	47,157
財 産 収 入	202,504	133,792	133,792	66.1	100.0	68,712
繰 越 金	36,633	36,633	36,633	100.0	100.0	0
諸 収 入	2,502	43	43	1.7	100.0	2,459
計	736,771	556,420	554,799	75.3	99.7	181,972

歳入は、予算現額736,771千円、調定額556,420千円、収入済額554,799千円となっている。予算現額に対する収入率は75.3%、調定額に対する収入率は99.7%であり、収入済額の主なものは、分担金及び負担金（構成市町負担金）289,433千円、財産収入（電力売払収入等）133,792千円及び使用料及び手数料（ごみ処理手数料等）94,898千円である。

< 歳 出 >

(単位:千円、%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A	予算残額 (A-B)	備 考
議 会 費	1,094	155	14.2	939	
総 務 費	53,076	26,783	50.5	26,293	
衛 生 費	682,301	282,578	41.4	399,723	
予 備 費	300	0	—	300	
計	736,771	309,516	42.0	427,255	

歳出は、予算現額736,771千円に対する支出済額は309,516千円、執行率は42.0%となっている。支出済額の主なものは、施設運営管理のための衛生費（各種業務委託料及び負担金等）282,578千円及び事務的経費である総務費（需用費及び派遣職員給与費負担金等）26,783千円等である。

(2) 基金の状況

基金については、将来の施設の解体撤去費用の財源を確保することを目的として一般廃棄物処理施設基金を保有しており、安全性、確実性及び流動性に配慮した運用がなされている。クリーンパーク北但において発電する再生可能エネルギー電気の売電収入の概ね1割の積立を行っている。

基金の現在高は41,505千円となっている。定期預金及び普通預金として保管しており、3箇月の期間運用を行っている。

3 施設運営に係る各種状況（2019年11月30日現在）

(1) ごみの受入量について

ごみの受入重量については、一般廃棄物処理基本計画の令和元年度受入重量（39,471,67トン）に対して26,153.11トン（受入率：66.3%）であるが、今後の予測受入重量は見込み量を含め年間約39千トンとなり、計画比に対して99%を見込んでいる。

(2) ごみ処理手数料について

ごみ処理手数料については、構成市町合計で105,279千円であり当初予算142,000千円に対して74.1%の収入となっている。

(3) 不用物品売払収入について

不用物品売払収入については、現時点で20,860千円であり当初予算27,500千円に対して75.9%の収入となっている。

(4) 電力売払収入について

売電売払収入については、現時点で134,699千円であり当初予算175,000千円に対して77.0%の収入となっている。

(5) 地域振興計画の実施計画について

「広域ごみ・汚泥処理施設建設に伴う森本区・坊岡区地域振興計画」を策定し、循環型社会の実現にふさわしい先進的な環境創造の取組みを行っている。

(単位：件)

事業種別	計画数	実施済	実施中	未実施	未実施事業の状況等
国 県 事 業	14	7	—	7	継続して国・県に要望
豊岡市経常経費事業	6	2	3	1	
1市2町負担金事業	35	32	1	2	区の方針により実施保留
施設整備関連事業	8	7	—	1	進入道路単独施工となり実施困難
合 計	63	48	4	11	

(6) 施設の補修・維持管理工事について

鹿・猪等の食害による里山荒廃や大雨による溪流の浸食崩壊を防ぐため、また災害時の避難所として安心・安全な施設とするため、調整池浚渫工事及び山の恵みビオトープ修繕工事を行った。

(7) 施設、周辺エリアの見学者等受入及びイベント開催状況

ア 構成市町管内の小・中学校及び各種団体並びに県内外の自治体等合計42団体（1,154人）、一般21人の施設見学を受け入れている。

イ 季節ごとに植物観察会などのふれあい体験イベントを開催し、166人が参加している。

クリーンパーク北但祭りでは、避難所体験会も開催している。

ウ 鹿侵入防御網設置や苗木の移植など里山保全活動を展開し、環境啓発機能の整備と周辺環境の保全に努めている。

4 監査の総括及び所見

事務処理等に係る要望事項等については、次のとおりである。

〔要望事項〕

(1) ごみ処理行政について

「地域のごみは地域で処理する」という理念のもとに建設されたクリーンパーク北但は、最新の技術を有し、クリーンセンター（高効率ごみ焼却発電施設）とリサイクルセンターを併設する環境に優しいごみ処理施設であり、法の定める環境基準より厳しい数値を守りながら運営を行っている。今後においても北但地域の循環型社会形成に向けて、安全安心な施設運営に取り組んでいくことを望むものである。

また、本施設が単にごみ処理の施設にとどまらず、ごみを中心とした環境啓発機能を有し、施設周辺の山林を利用して自然と触れ合い、自然との調和の大切さを学ぶ場であることを北但地域の内外に向けて積極的に情報発信を行い、竹野地域における交流拠点の一つとなり、地域の活性化に寄与することを期待する。

(2) 構成市町負担金について

事業の運営に必要な経費を積算し、均等割及び人口割で負担金額が決定されているが、事業の運営においては、コストを意識した運営に努め、将来を見据えた経営となるよう希望する。

(3) 地域振興計画について

地域振興計画のもと、森本区及び坊岡区の生活環境の保全と増進に配慮がなされている。今後とも計画の推進、搬入者への適切指導など両地区と協力して行われたい。

〔その他〕

(1) 平成30年度定期監査及び行政監査結果報告書の中で、要望事項としたホームページ掲載中の例規集の文言の誤りについて、ホームページの内容は更新され改善がなされている。

(2) 平成30年度決算審査意見書の中で、検討事項とした制限付入札について、制限付一般競争入札から一般競争入札に変更している。

(3) 2020年4月からの会計年度任用職員制度の導入等に向け、条例改正、会計システムの改修を行っている。